

社会医学系専門医研修プログラム専攻医のための
公衆衛生ウインターセミナー2023

配付版

専攻医のみなさんへのメッセージ

国立保健医療科学院
曾根智史

令和5年12月9日

本発表に関し、開示すべきCOIはありません。
また本発表は、所属組織の見解ではありません。

キャリア形成のために

- 本人の努力
- 本人の能力・適性
- 周りの状況(支援的・非支援的)
- 家族(結婚・子育て・親介護)
- 適切な情報・伝手(ウィーク・タイ: weak tiesを大切に)・出会い
- 年齢と選択肢(20代、30代前半・後半、40代前半・後半、50代)
- タイミング(自分で決められるもの、決められないもの)
- 「偶然」、「たまたま」もOK
- 学位と留学、専門医

進路を選択する時に

- 組織に縛られたくないと言うけれど
- キャリアにおいて、本当に「一匹狼」は可能か
- 組織で働くからこそできること
- 今はいいけど、20年後、30年後は？
- 行政は組織人。研究者は？ 臨床医は？
- 「仕組み(システム)」の中で仕事ができる強み
- 人間関係、理不尽なことはどこにもある

公衆衛生のおもしろさ

- 患者の数を減らせる（臨床は死者を減らす）
- システム（法律・制度・リソース）を整えるという方法を用いて、社会を変えることができる
- 根本原因がわからなくても、対処することができる（対処しなければならない）
- より多くの人々に裨益することができる
- 医学以外の方法論や価値観を導入することができる
- 多角的・長期的な視点が身につく